



# 島田市の教育

「平成28年度全国学力・学習状況調査」からみえる島田市の子供

## 1 調査の概要

### ◇目的

- ・児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、授業改善を図る。
- ・本調査の結果を子供への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てる。

◇実施日 平成28年4月19日(火)

◇実施対象 島田市内全ての小学校6年生と中学校3年生

### ◇調査内容

- ・教科調査(国語、算数・数学)
- ・生活習慣や学習環境等に関する質問紙



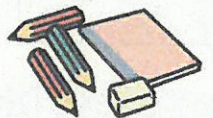
## 2 調査結果の概要

### (1) 教科に関する調査結果

＜調査結果(平均正答率)を領域別にまとめました。＞

#### ＜平均正答率＞

全設問における正答数の割合を算出した値(個人の正答率)を足し合わせ、子供の数で割った値



#### ＜記号の見方＞ 全国平均正答率と比べて

◎：+3ポイント以上

○：～+3ポイントまで

□：同じ

△：～-3ポイントまで

▲：-3ポイント以下

### 国語

※小・中ともに全国と比べて高い正答率となった。小学校B問題も、ほぼ同じレベル(±1ポイント差以内)の正答率であった。

| 学校種 | 問題別 | 全体 | 領域別          |      |      |                              |
|-----|-----|----|--------------|------|------|------------------------------|
|     |     |    | 話すこと<br>聞くこと | 書くこと | 読むこと | 伝統的な言語文化<br>と国語の特質に関<br>する事項 |
| 小学校 | A問題 | ○  | ○            | ○    | ○    | ○                            |
|     | B問題 | △  | ○            | △    | △    |                              |
| 中学校 | A問題 | ○  | ○            | ○    | ○    | △                            |
|     | B問題 | ○  |              | ◎    | ○    |                              |

## 小学校国語 ☆成果 ★課題

- ☆漢字を書いたり読んだりする力はついていきます。
- ☆目的に応じて、図や表とを関係付けて話したり読んだりする力はついてきています。
- ★「相手の意図を考える」「限られた字数・指定された言葉を入れる」など、複数の条件を満たして文を書くことに課題が見られます。

## 中学校国語 ☆成果 ★課題



- ☆日常生活の中から課題を決め、材料を集めながら自分の考えをまとめて書いたり、意見が効果的に伝わるように具体例を加えて書いたりする力がついてきています。
- ☆文章の情報を整理して、内容を捉えたり関連付けたりする力や、目的に応じて情報を読み取る力が身に付いてきています。
- ★漢字や語句の知識に課題が見られます。

## 算数・数学

※全体として小・中ともに全国とほぼ同じレベル（±1ポイント差程度）の正答率であった。

| 学校種 | 問題別 | 全体 | 領域別  |      |    |       |
|-----|-----|----|------|------|----|-------|
|     |     |    | 数と計算 | 量と測定 | 図形 | 数量関係  |
| 小学校 | A問題 | □  | △    | □    | ○  | ○     |
|     | B問題 | △  | □    | □    | ○  | △     |
|     |     | 全体 | 数と式  | 図形   | 関数 | 資料の活用 |
| 中学校 | A問題 | △  | □    | □    | ▲  | △     |
|     | B問題 | □  | □    | ○    | △  | ○     |

## 小学校算数 ☆成果 ★課題

- ☆作図する力や図形の仕組みについて理解する力が身についています。
- ★小数や分数などの基礎的計算力をより確実に定着を図る必要があります。
- ★根拠を持って考えたり、筋道を立てて説明したりする力に課題があります。

## 中学校数学 ☆成果 ★課題



- ☆基本的な計算問題を解く力は身についています。
- ★「関数」（比例や反比例、1次関数など）において、定着に課題があります。
- ★自分の考えや、根拠を明確にした説明の記述に課題があります。

## (2) 児童・生徒質問紙に関する調査結果からわかること



国語・算数・数学の学習は大切だと思う

自分にはよいところがある

友達の話や意見を最後まで聞くことができる

好きな授業がある

授業で、話し合う活動をよく行っている

今住んでいる地域の行事に参加している

よい傾向

力を入れていきたい

(小学校)「国語が好き」  
(中学校)「数学が好き」

自分の考えがうまく伝わるように工夫して発表する

ボランティア活動に参加する

教科書を使って予習・復習する

自分の考えを発表する

本や新聞を読む



## (3) 学校質問紙に関する調査結果からわかること



引き続き次の3点を意識して、子供が学びを実感できるような授業を目指します。

- ①目標（めあて・ねらい）をはっきり示す。
- ②課題解決のための話し合い活動を取り入れる。
- ③授業の最後に、子ども自身が、何を学んだのかを理解できる振り返りの時間を確実に設定する。

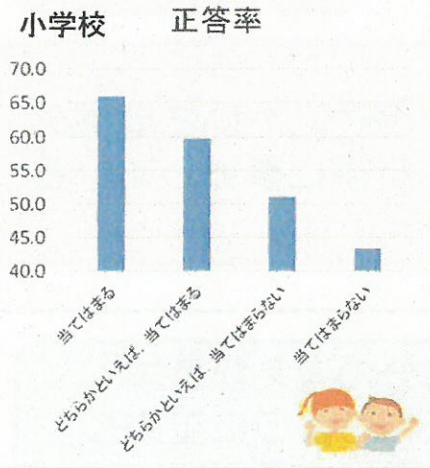
学校教育活動全体の中で、子供たちに将来就きたい仕事や夢について考えさせる指導を充実させていきます。



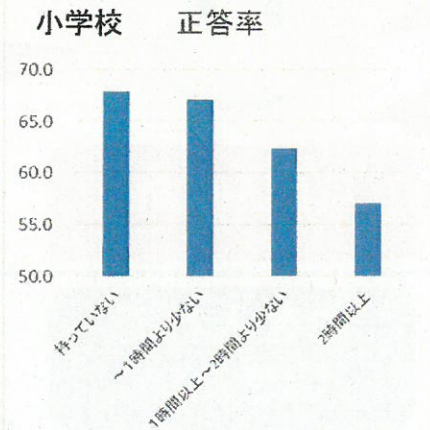
### 3 保護者のみなさまへ

昨年度と同様に、ものごとを最後までやり遂げてうれしかった体験がある子供や、平日にスマートフォン等で通話やメール、インターネットを長時間において使用していない子供の方が、平均正答率が高い傾向が見られます。また、家庭学習で授業の復習が身に付いている子供も平均正答率が高い傾向が見られます。

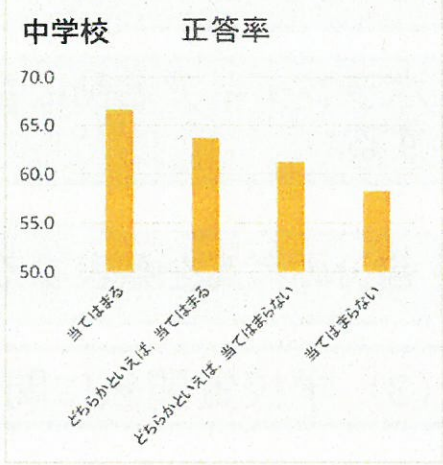
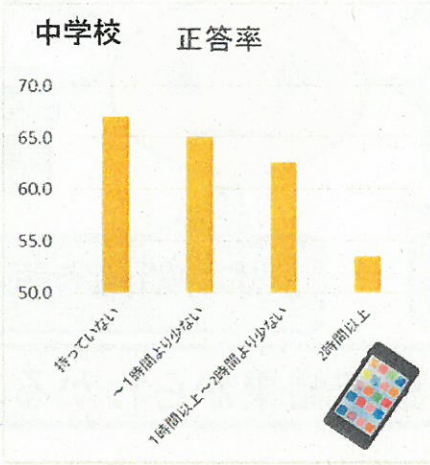
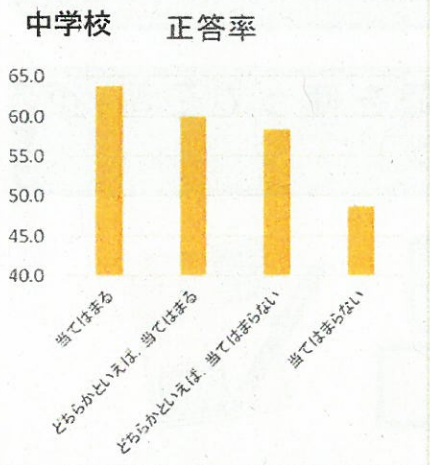
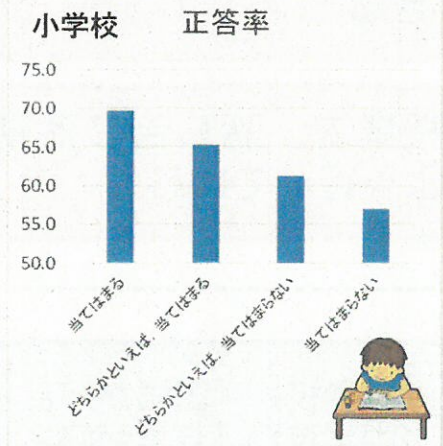
「ものごとを最後までやり遂げて、うれしかったことがある」平均正答率との関係



「普段（月～金曜日）、1日当たりどれくらいの時間、スマートフォン等で通話やメール、インターネットをしていますか」平均正答率との関係



「家で、学校の授業の復習をしていますか」平均正答率との関係



- ◇ものごとを最後までやり抜く体験ができるように、子供の活動を見守りながら、励ましたり認めたりしていきましょう。
- ◇携帯電話やスマートフォン、インターネットの使い方やルールを家庭内で設定し、長時間の使用にならないように注意しましょう。
- ◇家庭学習では、教科書やノート等を使って、授業で学んだことを復習したり、予習をしたりする習慣をつけましょう。
- ◇「ほめて伸ばす」「認めて伸ばす」ことを心掛けていきましょう。

島田市学力向上委員会では、学力向上のために、分析結果といくつかの取組を各小中学校に示しました。

各小中学校からも「学力向上へ向けた学校の取組」を、自校の実態を踏まえて具体的にお知らせしています。これからも、島田市の子供に、確かな学力が身につけられるように努力をしていきます。